

第10回通常総会記録

日 時 昭和54年6月2日 午後1時30分
場 所 厚生連高岡病院講堂

健康な村づくりに資することを目的として、調査研究をすすめております本研究会も、発足以来10ヵ年を経過し、熱心な会員の皆さんのご協力と、関係諸機関のご援助によりまして着実に調査研究がすすめられ、その成果は農山村民の健康増進に大きな役割を果たしたと存じます。

尚、実績につきましては、本誌第10巻で発表することができました。

この度、第10回の通常総会を終了いたしましたのでその内容をご報告申し上げます。

本総会は47名の出席者と委任状65名で定刻に開催され、議案審議もとどこおりなく進められ、金沢大学法文学部助教授の畑中幸子氏の特別講演を拝聴し、無事総会を終了いたしました。

以下、総会の議事の概要と、資料を掲載し参考に供します。

議 事 の 概 要

○会 員 総 数 182名 うち出席者47名 委任状65名

○会 長 接 拶 豊 田 文 一

○議 長 選 出 厚生連高岡病院大沢汎氏議長となる

○議事録署名者及び書記氏名

議事録署名者 氷見市 村 田 栄 信 城端町 堀 川 俊 明

書 記 鳴 田 俊 明 金 田 明

○議 事

第1号議案 昭和53年度事業報告書、財産目録、収支決算報告承認について

事業の概要と主なる行事の報告に併せ、財産目録及び収支決算について報告承認を得た。

第2号議案 昭和54年度事業計画及び収支予算案承認について

昭和54年度事業計画と収支予算を説明し承認を得た。

第3号議案 役員改選について

任期満了により新しく次記名簿の方々が決定された。

第4号議案 顧問の承認について

顧問として次記名簿の方々に依頼することが承認された。

特 別 講 演

金沢大学法文学部 畑 中 幸 子 氏

演 題 「バブアニューギニアの誕生」 講演録1頁～6頁に掲載

役 員 名 簿

理 事					
氏 名	役 職	備 考			
豊田文一 本多重雄	金沢大学学長 県厚生部次長 (新任の公衆衛生課長就任時追加予定)				
金山保 沖野清作 菅野利克 岸岡保	県医務課長 県農産普及課長 富山保健所長 福野保健所長				
渡辺正男 末永良治 越山健二 石田礼二 寺中正昭 長谷田祐作 吉崎亨	県衛生研究所長 県環境衛生課主幹 上市厚生病院長 富山市民病院長 城端厚生病院長 富山市民病院五福分院内科部長 県医師会理事				
西能正一郎 北川鉄人 林脩 一柳兵蔵 今井行雄 松井信勝 吉田一男 竹部喜代子	西能整形外科病院長 北川内科クリニック院長 厚生連高岡病院長 厚生連滑川病院長 県厚生連会長 県農協中央会副会長 県農協青年組織協議会長 県農協婦人組織協議会長				
(以上 21名)					
監 事					
水木正雄 岡西一英	砺波厚生病院長 高岡市農林部長				
(以上 2名)					
顧 問					
中田幸吉 堀健治 渡辺孝 田上康 古川武温 西本力蔵 吉田実 荒野野太作 福島一雄 若林章二	富山県知事 〃 市町会長 〃 町村会長 〃 医師会長 〃 厚生部長 〃 農業水産部長 〃 農協中央会長 〃 信連会長 〃 経済連会長 〃 共済連会長				
(以上 10名)					

事業報告書

昭和53年4月1日～昭和54年3月31日

昭和53年度終了にあたり、ここに事業の概要ならびに決算関係諸表についてご報告申し上げます。

本研究会創立以来10年の歳月を経ました。この間、会員各位の絶大なご協力によりまして、本県における農山村の実態を医学的に調査研究し、それを基礎として農山村民の健康管理に努力してまいりました。

本年度は、昨年に引き続き糖尿病の疫学的調査と、新しく農繁期が肝機能に及ぼすかについて調査研究を実施し、その要因についての検討を重ねて参りました。

その結果は農山村民の健康増進に大きな役割を演じたと思います。

会員の方々には事業計画に基づき、それぞれの分野で貴重な業績をあげていただきましたことは、喜びにたえません。

その内容は、会誌第10巻に掲げておりますので、ご高覧賜わりたいと存じます。

農民の健康会議も回を重ねて開催し、農民の皆さんと忌憚のない意見交換ができました。今後も県下各地で開催する予定でありますので、ご協力の程お願い申し上げます。

ここに第10年度終了にあたりまして、会員各位のご理解とご協力を深謝し、さらに第11年度も農山村民の健康を守るために、一層の努力をいたす所存でございます。

主なる行事

年月日	主なる行事
53. 5. 25	役員会 会費値上げについて 総会附議事項について
53. 6. 10	第9回通常総会 於 厚生連高岡病院講堂
53. 6. 29	専門委員会 肝機能調査について
53. 7. 22	農民の健康会議 滑川市農協 参集者 150名
53. 7. 28	大山町 肝機能調査採血 28人
53. 8. 4	氷見市 "
53. 8. 8	井波町 "
53. 9. 5	役員会 肝機能調査について 農民の健康会議について
53. 9. 13	黒部市 肝機能調査採血 29人
53. 9. 29	高岡市 "
53. 10. 16	氷見市 " (第2次) 28人
53. 11. 2	大山町 " (") 25人
53. 11. 6	井波町 " (") 21人
53. 11. 6	高岡市 " (") 32人
53. 11. 13	黒部市 " (") 25人 "
53. 10. 7	農民の健康会議 上市町農協 200名出席
53.10.12~13	日本農村医学会総会 豊田会長、越山理事出席
53. 12. 19	役員会 会誌原稿募集について(予告) 肝機能及び糖尿病調査について
54. 2. 15	役員会 会誌原稿募集について(〆切日設定) 総会特別講演について
54. 3. 28	専門委員会 肝機能調査及び糖尿病調査について

財産目録

昭和54年3月31日

(単位：円)

内 訳	金 額
預 金	36,755
計	36,755

富山県農村医学研究会

昭和53年度収支決算書

自 昭和53年 4 月 1 日 ~ 至 昭和54年 3 月 31 日

(単位 円)

項 目	予 算 額	実 績	差 引 増 減
会 費 収 入	85,000	57,500	△ 27,500
会 費	85,000	57,500	△ 27,500
援 助 収 入	6,500,000	6,500,000	0
助 成 金	1,800,000	1,800,000	0
特 別 負 担 金	4,700,000	4,700,000	0
雑 収 入	28,793	37,258	8,465
雑 収 入	28,793	37,258	8,465
前 期 繰 越	36,207	36,207	0
収 入 計	6,650,000	6,630,965	△ 19,035
会 議 費	500,000	444,570	△ 55,430
総 会 費	160,000	127,760	△ 32,240
役 員 会 費	180,000	171,500	△ 8,500
専 門 委 員 会 費	80,000	64,965	△ 15,035
編 集 委 員 会 費	80,000	80,345	345
事 業 費	3,585,000	3,621,120	36,120
研 究 調 査 費	1,805,000	1,836,500	31,500
研 究 集 会 費	100,000	110,440	10,440
会 誌 発 行 費	1,600,000	1,600,000	0
通 信 費	50,000	50,000	0
消 耗 品 費	20,000	19,980	△ 20
備 品 ・ 什 器	10,000	4,200	△ 5,800
旅 費 交 通 費	250,000	220,920	△ 29,080
旅 費 交 通 費	250,000	220,920	△ 29,080
事 務 費	2,300,000	2,300,000	0
事 務 費	2,300,000	2,300,000	0
雑 費	10,000	7,600	△ 2,400
雑 費	10,000	7,600	△ 2,400
予 備 費	5,000	0	△ 5,000
予 備 費	5,000	0	△ 5,000
費 用 計	6,650,000	6,594,210	△ 55,790
次 期 繰 越		36,755	

昭和54年度 事業計画

昭和54年4月1日～昭和55年3月31日

1. 農村の職業性疾患の調査研究

農夫症を中心とする農村の地域環境に起因する健康障害の調査研究

2. 農業災害の調査研究

農業機械の健康に及ぼす影響についての調査研究、とくに騒音及び振動の影響調査

3. 健康管理についての調査研究

農民の健康状態の把握と保健指導

農民の健康管理の調査研究

農民の成人病実態調査とその対策に関する検討

農民の糖尿病の調査研究と肝疾患の調査研究

4. 農民の健康会議の実施

5. 農村の特殊疾患の調査研究

伝染病、風土病等の地域多発疾患の疫学的調査研究

6. 農村における社会医学的研究

社会環境の変動による農民の健康に及ぼす影響についての調査研究

都市近郊農村の社会医学的研究

7. 環境汚染と農村における健康障害についての調査研究

8. 乳幼児ならびに学童に対する健康対策

9. 機関誌の発行

10. その他目的達成に必要な事項

富山県農村医学研究会

昭和54年度収支予算書

自 昭和54年4月1日 ～ 至 昭和55年3月31日

(単位 円)

収 入 の 部			
項 目	子 算 額	内 容	
会 費 収 入	85,000		
会 費	85,000	170人×500円	
援 助 収 入	4,700,000		
助 成 金	1,800,000	県費助成	
特 別 負 担 金	2,900,000	農協各連負担金	
雑 収 入	28,245		
雑 収 入	28,245	預金利息等	
前 期 繰 越	36,755		
合 計	4,850,000		

支 出 の 部			
項 目	子 算 額	内 容	
会 議 費	540,000		
総 会 費	160,000	会場借上料、資料代	
役 員 会 費	180,000	年12回会場借上料15,000円×12回	
専 門 委 員 会 費	100,000	委員会開催費用	
編 集 委 員 会 費	100,000	会誌編集委員会費用	
事 業 費	3,925,000		
研 究 調 査 費	2,025,000	職業性疾患調査他 糖尿病、肝機能調査等	
研 究 集 会 費	120,000	日本農村医学会研究集会参加費 30,000円×4人	
会 誌 発 行 費	1,700,000	年1回 500部	
通 信 費	50,000	電話代、郵便代	
消 耗 品 費	20,000	事務用消耗品代	
備 品・什 器	10,000		
旅 費 交 通 費	250,000		
旅 費 交 通 費	250,000	県内、県外旅費	
事 務 費	120,000		
事 務 費	120,000	月10,000円×12ヵ月	
雑 費	10,000		
雑 費	10,000		
子 備 費	5,000		
子 備 費	5,000		
合 計	4,850,000		

望まれる調査研究事項

1. 農夫症、ビニールハウス病等の職業性疾患について
2. 農業用機械、自動車等による産業災害に関する調査研究
3. 労働時間、休憩時間、作業強度、作業姿勢等の健康におよぼす影響についての調査研究
4. 農民の年齢、性その他の身体的諸条件に応じた作業法（たとえば婦人労働、老人労働など）についての調査研究
5. 農民の使用する毒物、劇物、農薬等に関する中毒学的試験および検査ならびに安全使用法、健康におよぼす影響等必要な調査研究
6. 人畜共通伝染病についての調査研究
7. 農民の健康状態の把握とそれに応じた保健指導、医療確保（医療施設の整備、医師等の医療従事者の確保）など、農山村民の健康管理についての調査研究
8. 衣生活および住生活、活動と休養、体格と機能の生理衛生ならびに健康増進方法についての調査研究
9. 農民の食生活の実態および米、塩等、農民が多量に摂取する食品の栄養学的研究
10. 農山村における水道、下水道、汚物処理、そ族こん虫等の環境衛生に関する調査研究ならびに住宅その他地域計画の保健衛生に関する分野の調査研究
11. 農村保健に関する衛生統計、社会統計等の諸統計や各種データ収集、解析および資料の編さん
12. 伝染病、風土病および農村特有の多発性疾患の疫学について
13. 農村における社会医学的問題の調査研究
14. 農村における人口動態、人口移動、人口年齢構造など人口現象について
15. 環境汚染と農村における健康障害についての調査研究
16. その他農山村保健の推進のため必要な調査研究

投 稿 規 定

募 集 原 稿 農村医学の分野における独創的な研究および会員のたよりとします。

投 稿 の 資 格 投稿者は原則として富山県農村医学研究会会員とします。

原 稿 の 送 り 先 富山県農村医学研究会事務局宛（富山市新総曲輪2番21号 富山県厚生連内）
投稿原稿の掲載選択順位は編集委員にご一任下さい。

論文原稿の形式

1. 本文は本会規定の原稿用紙に、口語体、平かな、新かなづかいで、できるだけ簡潔に横書して下さい。
2. 外人名、地名、その他の固有名詞、特別な化合物名などは、できるだけ原綴のまま（Pasteur, Prostaglandin 等）とし、動植物名は日本名の次に学名（ローマ字Mocacus rhesus, 山椒藻Salvinabatah 等）を記入する。計量にかんするものはメートル法に準拠し、次のような略号を用いる。メートルm、センチメートルcm、グラムg、キログラムkg等。
3. コンマ（,）ピリオド（.）コロン（:）ゴシックの使用等に気をつけて下さい。
4. 図表は、そのまま製版できるように上質ケント紙または方眼紙に墨で、ていねいに書いて下さい。（図表は、特殊なものを除いては、出来あがり左右 6.5cmに製版しますから、その2倍か3倍に書いて下さい。）
図表の文字は、こちらで記入しますから、鉛筆で書いて下さい。
5. 写真は出来るだけ鮮明なものをお送り下さい。
6. 本文に挿入する図表、写真については、挿入場所を原稿の欄外に明記（朱記）して下さい。

無 料 掲 載 原稿用紙20枚（刷上がり5頁）までとします。ただし挿入附図、附表を含みます。

有 料 掲 載 超過頁の印刷代、附図、附表の製版代の実費は投稿者の負担とします。ただし刷上がり15頁を限度とし長篇の論文を5頁ずつ分割掲載することは認められません。

- 文 献**
1. 雑誌の場合著者名、標題名、雑誌名（雑誌指定の略号）、巻数（号数）、頁一頁、発行年月（昭52. 5のごとく。）
 2. 単行本の場合 著者名：標題名、発行所、発行地、発行年月（必要なら引用の個所の頁を最後に）

別 刷 別刷の部数や体裁などについてはある程度まで、実費をもってご希望に応じます。ただし別刷30部までは無料で投稿者に進呈、30部以上は実費をご負担願います。

編 集 後 記

富山県農村医学研究会誌第11巻号をお届けします。変貌する世界情勢の中の日本、そして、とくに農業県である富山の農村の経済とともに、その住民の健康状態を観察するとき、少しずつ推移がみられます。この会誌で今まで、とくに継続された調査報告をかえりみると、富山県農村婦人の貧血（第4報）、農民健康調査（第5報）、へき地学童の耳鼻咽喉科検診成績（第10報）、農業機械災害事故の調査報告（第10報）などがあります。

富山県農村医学研究会は農村の健康問題に関するあらゆる情報交換の場であり、一歩ずつ、その理念に向って歩いて来ています。

今年度、豊田先生らも、今までの業績集の中より「Rural Area and Primary Health Care in JAPAN.」という演題で、チェコの国際学会にて発表されるそうです。

農村医学会会員、この会誌投稿者も編集者も一同とともに、みな初心にもどり、心新たにこれから頑張って前進していきたいものです。 (K, T)

編 集 委 員 越山 健二、長谷田祐作、北川 鉄人

富山県農村医学研究会誌 第11巻 昭和55年3月25日印刷・昭和55年3月31日発行
高岡市永楽町5番10号・富山県厚生連内 電話 高岡(0766)25-2266
編集、発行所 富山県農村医学研究会 事務局長 岩井久作
印刷所 菅野印刷興業株式会社 富山県黒部市三日市 電話(0765)54-0112
